年間授業計画 新様式

年間授業計画 新株式 高等学校 令和5年度 (2学年用) 教科 公民 教 科: 公民 対象学年組:第 2 学年 1 組~ 6 組 使用教科書:『高等学校 公共』(帝国書院) 科目 公共

(帝国書院) よりよい社会の実現を視野に、現代の請課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な事等や深い理象を通して高養される、現代社会に生きる人間としてのの目標・リガ生き方についての自覚や、必求的な空間に生き園又生権を目う気として、自国を受し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を事重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを変める。現代の諸課題を捉え考察し、選択、判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 粉科 公民

【知 識 及 び 技 能】

【知 旗 及 び 技 能】

「に、請募者から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調へまとのも技能を身に付けるようにする。
「に、表現するために必要となる情報を適切かつ効果的に調へまとのも技能を身に付けるようにする。
「思考力、判断力、表現力等」
「思考力、判断力、表現力等」
「学びに向かう力、人間性等」
「学びに向かう力、人間性等」
「学びに向かう力、人間性等」
「学びに向かう力、人間性等」
「学びに向かう力、人間性等」
「独議を発展を発展して調査される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自党へ公共的な空間に行き国民主権を担う公民として、自国を受し、その平和に繁末を図ることや、各国が相互に基権を導車し、各国民が協力し合うことの大切さについての自党などを深める。
「知識及び技能」
「知識及び技能」
「知識及び技能」
「思考力、判断力、表現力等」
「学びに向かう力、人間性等」
「現代の諸議語を投入考察し、選択・判断のための 現実社会の諸議を追募するとともに、情報を効果的に 現代の諸議語を記入考察し、選択・判断のための 現実社会の諸議を記録するとともに、情報を効果的に 第一次のよりに対していました。ときは、よりよい社会の実現を現野に、現代の諸議題を機会で提供するとともに、情報を効果的に対していました。とき議論する力を養う。
「本語が成や社会参画を視野に入れながら構想し、上、各国が相互に主権を重重し、各国政協の協力したことを議論する力を養う。」
「本語が成や社会参画を視野に入れながら構想し、上、各国が相互に主権を重重し、各国政協の協力したことを議論する力を養う。」

	ガニの見けがた松波口標	指導項目・内容		領域		評価規準		思	熊	配当
	単元の具体的な指導目標		28.	#	読	計画光平	知	ACX.	12:	時数
	A 単元 等年期と社会参加 「知識及び技能」自らの体験などを接 り返ることを通し、自らを成民させ のという。 「思考力・判断力、表現力等」社会に で理解している。 「影響する自立した主体とは、患者をひな となっては、患者をひな を関係による当として国をなることに を表しては、これで を表している。 「学びに向かう力、人間性等」と共的 定定側に対するとしている。 は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	する自立した主体としてのあり 方・生き方について自分の意見を 表現することを通じて、社会形成 とそれに結びつく、自らのキャリ ア形成について理解させる。 ・数科書 ノート (ワーク) ・資料集 プレゼンテーションソフト	0	0	0	【知識及び技能】自らの体験などを振り返る ことを通して、自らを成長させる人間として のあり方、生きだにやいて開発している。 【思考力、判断力、表現力等】社会に参加する自立した主体とは、他者とのの無傷になり間を、社会などの公共的な空間を 作る事件とではまったといういで多面的・多角で は一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、 は、一つでは、一つでは、一つでは、 における服物の解決を提野に、主体的に社会 に関わるうとしている。	0	0	0	6
	B 単元 宗教・思想・伝統文化と社会 知識及び才能計入間は、自らの価値 観を形成するととはに他者の価値観を 繁重することができる存在であることについて選解している。 [思考力・明治・本力・等 と からないなからないなからないなからないなからないなからないなからないなからない	・私たちが生きる社会を形成する 伝統や文化、宗教、古来の日本人 の考え方などの理解に基づき、 社会的な存在であることを通 にて自らの意見を表現することを通 して自らの意見を表現することを通 版、それらを形成することを通 版、それらを形成する。 ・教科書 (ワーク) ・資料をして、 ・教科書 ・プレゼンテーションソフト 振り返りシート	0	0	0	「知識及び技能】人間は、自らの価値観を形 成するとともに他者の価値観を導重すること ができる存在であることについて理解している。 カ、判断が、表現力等】他者との協働により 当事者として国家・社会などの公共的な空間 も作る存在であることについて多面的・多角 を作る存在であることについて多面的・多角 のにある。と現している。 原列から力、人間特別(全球的な空間 向から力、人間特別(全球)に対して 課題の解決を提野に、主体的に社会に関わろ うとしている。	0	0	0	3
	定期考査			0			0	0		1
1学期	(単年) 機理的な見か、考え方 「知識及びだ婚」 選件、判断の手がか りとして、行為の結果である個人や社行動 のは、行為の結果である個人や社行動 のは、行為の結果である場合を選択する考え方というでも の場合となる近立との義務を重じて をして、は、との表表を重して、 他性の判断に置い用いて考定して、 をして、は、との表表を重して、 のでは、また、 のでは、	の考え方などへの理解に基づき、 私たちはお店での宣場を理解し合う社会的な存在であることについる は自分の意見を現することを して自分の意とを見ずることを して自らの価値観や他者の価値 観、それもを形をむる。 ・数料書 ・ノート(ワーク) ・資料集・ ・プレゼンテーションソフト	0	0	0	知識及円接触 選択・判断の手がかりと日 て、行為の能量である個人や社会全体の幸福 を重視する考え方や、行為の動機となる公正 などの義務を立た。 服勢力、判断力、表現力等 倫理的価値の 判断に置いて、思考実験など概念的な特組み を用いて考別・自然動を抽合、人間ともで のあり方生をも方を多価的・多角的に考察 「学びに向かう力、人間性等」と共的な空間 に対している。 に、主体的に社会に関わるうとしている。	0	0	0	5
	D 単元 社会の基本原理と憲法の考え 【知識及び技能】各人の意見を利害を 公平・後世に調整することなどを通し 、人間の薄数と平等、協画の利益と 社会の変性性の確保を含えるとで 、人生的な変性の確保を多えるとを 、公差的な変性の確保を多えるとを 、公差的な変性のである。 「思考力、判断力、表現力等」と共的 の関わりに置いてる面的。多角的に考 多等である。 の関わりに置いてる面的。多角的に考 の関わりに置いてる面的。多角的に考 はな理によが15年末の原理について、 はな理によりる基本が原理について、 はな関連を表現をと概念を はないまする。 は、表現していて、 はないまする。 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	について自分の意見を表現する等、 を適じて、人間の等数とする等、 に関いていました。 に、公共的な空間に生じる原型に等していました。 、公共的な空間に生じる原型によせら原理になった。 ・思考実験や概念を開いませる。 ・思考実験や概念を持たいため、現実定させる。 ・とのはいました。 ・とのはいました。 ・表科書・ ・プート (ワーク) ・資料集・ プレゼンテーションソフト	0	0	0	「知識及び技能」各人の意見や利害を公平・ 公正に調整することなどを進して、人間の尊 終と平等、能略の利益と社会の安定性の維修 を共に図ることが、公共的公空間を任ううえ で必要であることについて到難している。 「思考力、判断が力、要収力等」とよめまごという。 「思考力、判断が用途、つく者の表の表では、 はおける基本的原理についるが、 「思考し、表現している。 「というない。」というない。 「学びに向かう力、人間性等」と公共的な空間 における基本的原理についる。 【学びに向かう力、人間性等」と公共的な空間 における基本的原理について、 における基本的原理について、 における基本的原理について、 における基本的原理について、 が表現れたという。 野に、主体的に社会に関わるうとしている。	0	0	0	9
	定期考査		H	0	-		0	0	-	1
_			1	1	1		ľ	1	1	1

	E 単元 法の産業と可法参加 日畑歳及び活動、現実社会の諸震圏に 関わる諸幹料から、自立した法的主体連 として活動するために必要な情報を 切かつ効果的に収集し、認み取り、ま とのるな競争を付けている。 【思考り、判断が、表現が等)自立も自会 参調を提邦に入れながら、その主題の 解決に向けて事業を必能に傷力 を調を提邦に入れながら、その主題の 解決に向けて事業を基に傷動したり機会と を調を提邦に入れながら、その主題等 したり構想したりしたことを、論拠を して表現している。 【学びた向かう力、人間等の主義を が高の産業およびいる。 【学びた向かう力、人間失ります。 はの意義とはでいる。 【学びた向かう力、人間失ります。 はの意義とはでいる。 【学びた向かう力、人間失ります。 はの意義とはである。 は、で表現したり、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	・ 法の基本的な考え方に関す認 ・ 法の基本的な考えた。身近大力を開業を ・ を発力力を開業を ・ はたった。 ・ はなる。 ・ なった。 ・	0	0	0	【知識及び技能】現実社会の諸郷期原間から 治資料から、自立た法的主任として活動する るためた必要な情報を適切かつ効果的に収集 し、認定取り、まとめる技能を受け付けてい こ。 「思考力、判断が、おかられる。具体的かと事態に 主体として解決が水がらられる。具体的かと事態に なが、またが、またが、またが、またが、またが、またが、またが、またが、 がも、その主題が、対からは、たりしたことを、論 能して考したり構想したりしたことを、論 能ともって表現している。 【学びに向かう力、人間性等】法や規範の差 報おび代料、可法参加の意義などに関わるうとし でいる。	0	0	0	7
	F 単元 民主社会と政治参加 【知識及び技能】設治参加と公正在世 議の形成、地方目前などに関わる現実 会は、整定の下。 個人が議論を参加 会は、整定の下。 個人が議論を参加 会は、整定の下。 個人が議論を参加 し、を見べ待する。 ののでは大説を開催した。 し、を見べ待する。 ののでは大説を開催した。 し、を見べ待する。 ののでは大説を開催した。 し、を見が待ちない。 (で関節 している) としている。 (世界力、 世界力、 大変以分割)自立した政治主体として いて、合意形成や社会参加を限制に入事 また。 との形成を社会を制度を見い いて、合意形成や社会参加を提供に入事 実を基に協働して考核したり構想した いる。 したことを、制度もして考核したり構想した いる。 日本では、 に関わる関連の解決を提供し、主体的 に関わる関連の解決を提供し、主体的 に関わる関連の解決を提供し、主体的 には対きに関わるうとしている。	りよい社会を構成すらための取り 組みについて自分の意的を現まったとを通じて、地方自分の意力を決定して、地方自分の意力をとなって、地方自分の形成、地方自分の形成、地方自分の形成、地方自分の形成。最初では、多彩が自然を見いて、一般である。 大学ないで、世界である。 大学ないで、世界である。 大学ないで、大学ないでは、大学ないで、大学ないいで、大学ないで、大学ないで、大学ないで、大学ないで、大学ないで、大学ないで、大学ないで、大学ないで、大学ないで、大学ないで、大学ないで、大学ないで、大学ないで、大学ないで、大学ないで、大学ないで、大学ないでは、大学ないでは、大学ないで、大学ないで、大学ないでは、大学ないないでは、大学ないないでは、大学ないないでは、大学ないないでは、大学ないないでは、大学ないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	0	0	0	【知識及び技能】政治参加と公正な性論の形成、地方自治などに関わる現実社会の事料や展開を表に、よりよい会は、無法の下、場面を表に、よりよい会は、悪法の下、場面を表した。となどを通じた。 2 をおいる 1 と思うが、 1	0	0	0	7
	定期考査			0			0	0		1
2 学期		する国際社会の正確な理解に基間 の平和的な解決や安全保障、 取り、 は、 ので、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	0	0	0	知識及び時能」開発主権、制土(領係、資金 を含な))日本の空台機を上が勝、国際資 報を含む四勝社会における日本の役割をとして 観力の実践社会の事務や機動と表し、より良 はい社会は、憲法の下、個人が議論に参加し、 を見や利害の対比代別を開発している。 1 思考している。 1 思考している。 1 思考している。 1 思考している。 1 思考している。 1 思考している。 1 思考している。 2 世界としている。 2 世界としている。 他して考察したの様性に向けて事実を基に続し 能とも考して表している。 1 世界としている。 1 世界としている。 1 世界としている。 1 世界としている。 1 世界としている。 1 世界としている。 1 世界としている。 1 年間、個空を含むり、日本の安全保障した 1 年間、個空を含むり、日本の安全保障した の役割ととに関わるうまとしている。	0	0	0	8
	■ 単元 非場底液の とくみの機能と限 ・ 「知識及び技能化」 中場経路 から ・ 「知識などは他化」 中場経路 から ・ 「場合では他化」 中場経路 から ・ 「場合では他化」 中場 は ・ は ・ は ・ は ・ は ・ は ・ は ・ は ・	めの取り組みについて自分の意見経 を表現することを適じて、対象に 所の機能と限界、金能の動き、財産 済の機能と限界、金能の動き、財産 またの際、大きく変容する金 級の働きや難とからない対象状況など現 実社会を着まったこ具体を考察・機型 できるよう支援することに留金 できるよう支援することに留金 ・ 数料書 ・ ノート (ワーク)・ 資料集	0	0		日本職人で共和 市当尾湾の南龍と長界、 のの衛と、両を及び無私の実践の大変がなどに関わる のの衛と、両を及び無私の実践のなどに関わる の場実に対している。となるが、自然を対している。となる済活節を行っている。とを近している。となる済活節を行っている。と及びより、 を行っている。ととの世に対している。ととのは、 「思考力、南州が、ませつ、カース・カース・カース・カース・カース・カース・カース・カース・カース・カース・	0	0	0	8

	向上に客与したのする報を紹介など 添活動と個人の職業を共に成り立た社 が活動と個人の職業を共に成り立た社 している。 している。 した経済主体として解決が求められる社 した経済主体として解決が求められる社 食会輸産人間野に入れながら、そのこで考し の解釈に向けましたりしたことを、論教 を見かり、というというという。 便びに向かう人、周世等の主きを 民、雇用と労働問題、少子高齢社会に 就ける社会保険の表す、安化では、 限に、原用と労働問題、少子高齢社会に 提供の解釈を向けませ、 に、雇用と労働問題、少子高齢社会に 提供の解釈を見せます。 に、雇用と労働問題、少子高齢社会に というという。	て、職業養軽化、雇用と労働問題・ サ子高齢性とは対る社会保障の 投資とかった計画関について理解な 投資とかった計画関について理解な 情事新の急速が発展的な間、特別では 情事新の急速が発展的な間、特別では とし、そうな機大能を多だ。 が、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	0	0	0	・市場経済システムを構能させたり国民福祉の 向助上に寄生したりする役割を破坏などが担っ でいること、及びより活発な経形活動と個人 っていること、及びより活発な経形活動と個人 っていること、とびより活発な経形活動とは人 、工態をしていて調整力、表現力が自立した経済 に思考力、判断力、表現力が自立した経過に かいて、合き機能が求められる自体的な土地間に かいて、合き機能が求められる自体的な土地間に かいて、合き機能が対象があれる自体的な土地間に のかいて、合き機能が対象があれる自体的が大き観に のかいて、合き機能が対象が大きない。 生態をあるが表現している。 他 ともって表現している。 日子びに向かう力、人間性等、職業程果、展保 層の充実・安定化などに関わる課題の解決を 優勝の、土体的に社会に関わるうとしてい る。	0	0	0	7
3学期	1 単元 国際経済の動向と格差の是正 東京 「大学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学学	き、貧困や格差のないよりよい乳 財金のようない。 は会の形が成立しています。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	0	0	0	地職及び技能】経済のグローバル化と相互 依有関係の標準り、国際社会における質器や 格差の開墾をきり、位と開から現実社会の 等所できるけったとに関から現実社会の 等所できるけったとに関うしているである。 を行うことを立て資源のがよるとはでは られること、市場経済システルを機能が活動の られること、市場経済システルを機能が活動の られること、市場経済システルを機能が活動の られること、市場経済システルを機能が活動の が出していること、及びより活発な経 が出していること、及びより活発な経 が出していること、及びより活発な経 が出していること、及びより活発な経 が出していること、及びよりませることを が出している。 と、ため、大きな、 は、としている。 に、で、は、 に、で、と、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、	0	0	0	6
and the second s	(単元 持続可能な社会の実現に向けて 1948年) 「	ながら、第1部、第2部の各領域を 横断する課題を探究する単元であ り、「公共」のまとめとして、こ	0	0	0	知識及び技能】経済のグローバル化と相互 依存間係の深まり、国際社会における省圏や 核差別開発を含むり、などに関わる現実社会の 事構作受益に、公正かつ自由な経済活動 を行うことを選びて資源のがから観光が活動である。 を行うことを選びて資源のがから起発がは られること、市場経済システルを機能分させた り自民福祉中の旧に寄与したウェウを保 が近れっていること、及びより活発な経 が指数である。 では、大型などのでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	0	0	0	4
5	定期考査			0			0	0		1 合計